

■ 第3回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議（書面開催） 意見まとめ

意見なし 8名
意見あり 3名

意見分類	意見内容	対応
イメージ図 方針図	将来の久留米の目指す中心市街地のあり方をいくつかの例をあげてイメージできるような表現とそのアプローチをわかり易い形で加えて欲しい。	・構想案 P1 にまちの将来像、P2 にまちづくりの方針図を記載済。 ・将来像を実現するための基本方針において、イメージできるような 各事例を記載済。
方針3： 都市機能	景観の形成の具体例があればいい。	・構想案 P14 に久留米シティプラザの事例を記載済。
	『耐震化・不燃化による災害に強いまちなかの形成』にも無電柱化について記載する。無電柱化は景観向上だけでなく災害に強いまちづくりにも寄与するため。	・【構想案 P21】 ・無電柱化の推進について追記。
方針4： 地域の価値	地域の魅力を形成できている具体的な事例や写真を紹介して欲しい。	・構想案 P24 に熊本市のくまもと広場ニストの事例を記載済。
	① 第1項『観光の拠点となる場の形成』と第2項『情報発信拠点の形成』の棲み分けが明瞭でない。第1項は観光目的地、第2項は情報発信地と受け止めたが、この場合、観光案内所は第2項と考えられる。 ② 第2項『情報発信拠点の形成』に追加された観光資源イメージの図では、●の説明文にある「インフォメーション機能の強化」を連想できない。第1項の観光案内所の写真や、イベント情報等をデジタルサイネージで実際に発信している写真があればわかりやすいと思う。 ③ 第1項の写真は、集客施設やアンテナショップの写真に変更してはどうか。	・【構想案 P23】 『観光の拠点となる場の形成』と『情報発信拠点の形成』を統一し、『観光の起点となる場の形成』として整理。
その他	久留米市都市計画マスタープランで示されている拠点は、『中心拠点』、『地域生活拠点』、『産業拠点』の3つであり、次期計画にて、『暮らしの拠点』（地域生活拠点を補完するもの）『地域活力創造拠点』（新インターチェンジ周辺）を追加するとしており、広い範囲を表すものとして整理されている。 これに対し周辺整備構想案では、『災害時の避難や支援拠点の形成』、『観光の拠点となる場の形成』、『情報発信拠点の形成』とあり、ここでの拠点は個別の施設や機能を示しているように感じられる。 マスタープランでの『拠点』と区別できないため、別の言葉に修正してはどうか。（説明文中の拠点も併せて修正してはどうか。）	・久留米市都市計画マスタープランで示す拠点は、商業・業務、居住、文化、教育、医療・福祉、工業などの施設について、立地集積を図るべきおおむねの位置を示すもの。しかし、本構想が示す拠点は、「活動のよりどころになる所」という日常一般に使われる拠点であり、久留米市都市計画マスタープランで示す拠点とは別の意味となっている。
	10、20年後の将来を見据えたまちづくりを考えてほしい。	・10年、20年後の将来を見据えたまちづくりを重視し、構想に基づく各取組により、持続可能な発展と地域の活性化を目指す。